



中部電力

塗装の長寿命化（補修コストの低減）

下地安定化剤効果の検証

背景・目的

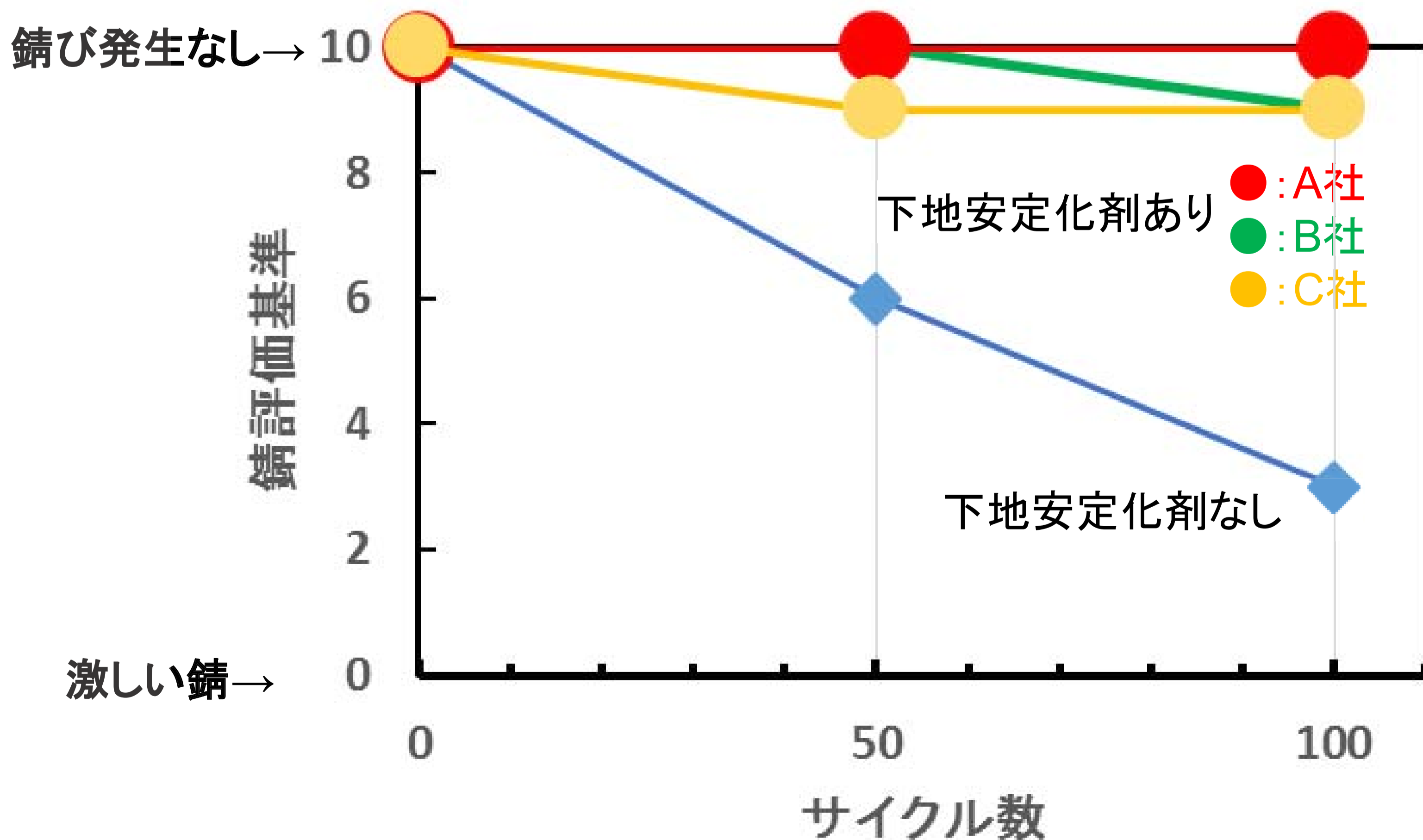
- 塗装寿命は、「塗料の種類・膜厚」と「下地の良否」に影響される。
- 再塗装の際、錆を完全に除去することが難しい作業工程であることも多い。
- 錆が残った状態でも長寿命化が図れるとされる下地安定化剤の効果を検討した。

特長

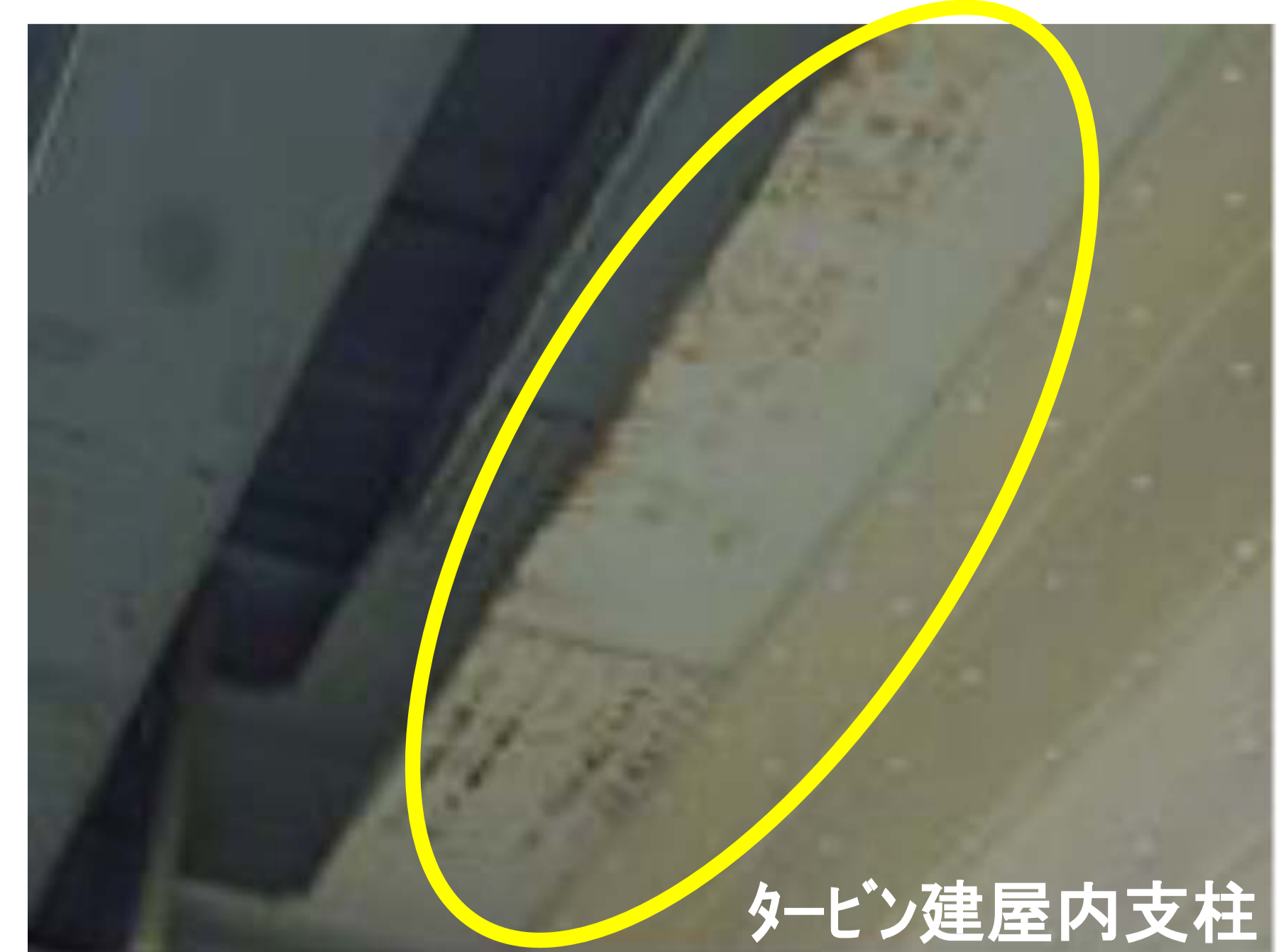
- 「浸透性錆固定化機能」により、錆層内に深く浸透し、脆弱なさび層全体を強固に固定化する



試験結果例



サイクル試験: 1C(サイクル)
 「温度35℃、塩水噴霧2時間」
 ↓
 「温度60度、湿度20~30%で熱風乾燥4時間」
 ↓
 「温度50℃、湿度95%の湿潤状態2時間」



上越火力発電所
 運転後1~2年で溶接部やボルト部に発錆